

大阪ええまち プロジェクト

ご案内資料



主催



企画・運営



大阪ええまちプロジェクトとは？

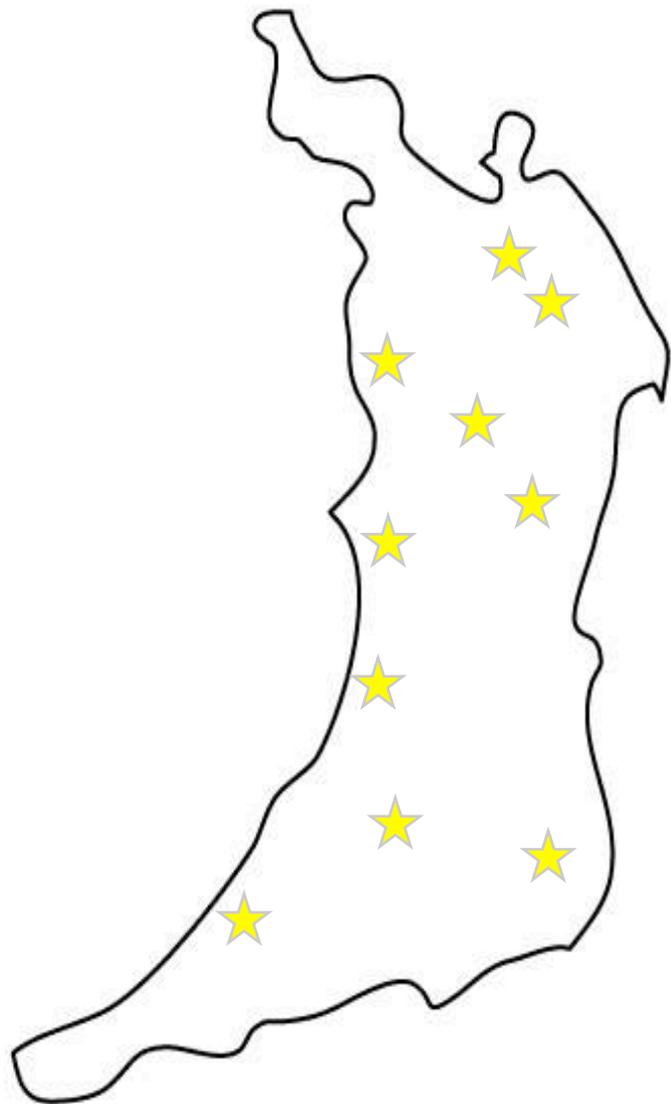
大阪ええまちプロジェクトの趣旨

“

オール大阪で高齢者の
積極的な社会参加を促し
高齢者の生きがいづくりと
介護予防への機運を醸成

”

目的① 地域を「ええまち」にする団体が元気になる

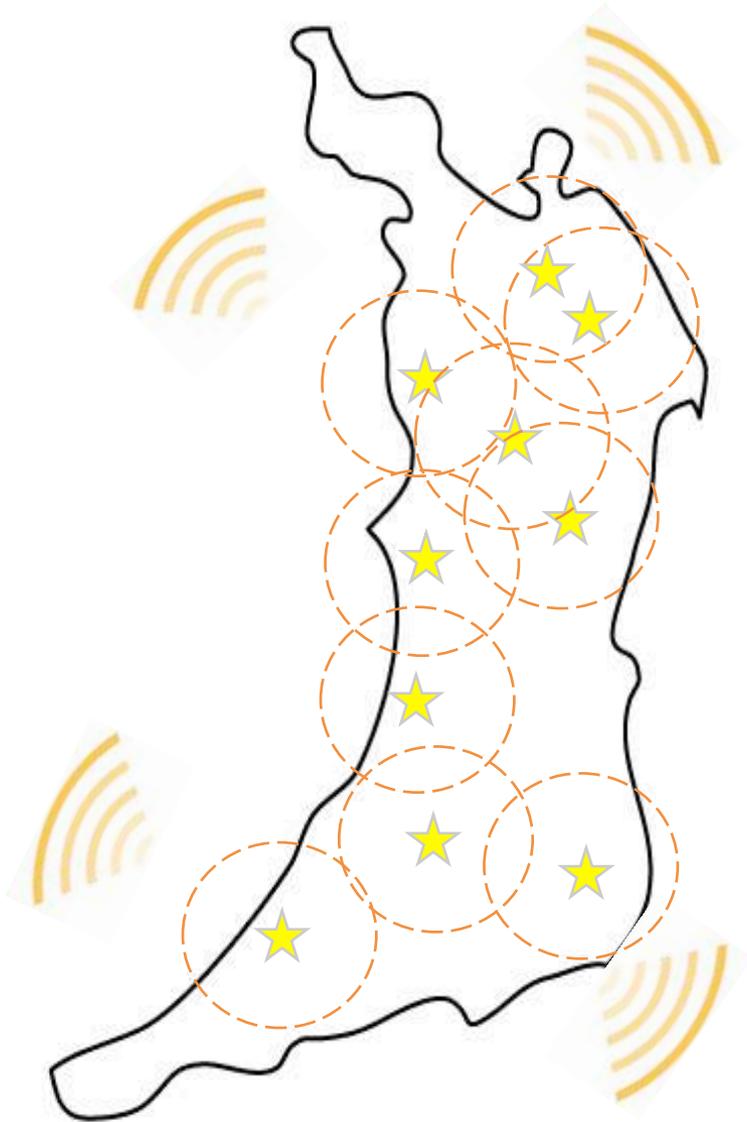


自分のまちを「ええまち」にしようとしている団体の活動を支援します

プロジェクト型支援

随時個別相談型支援

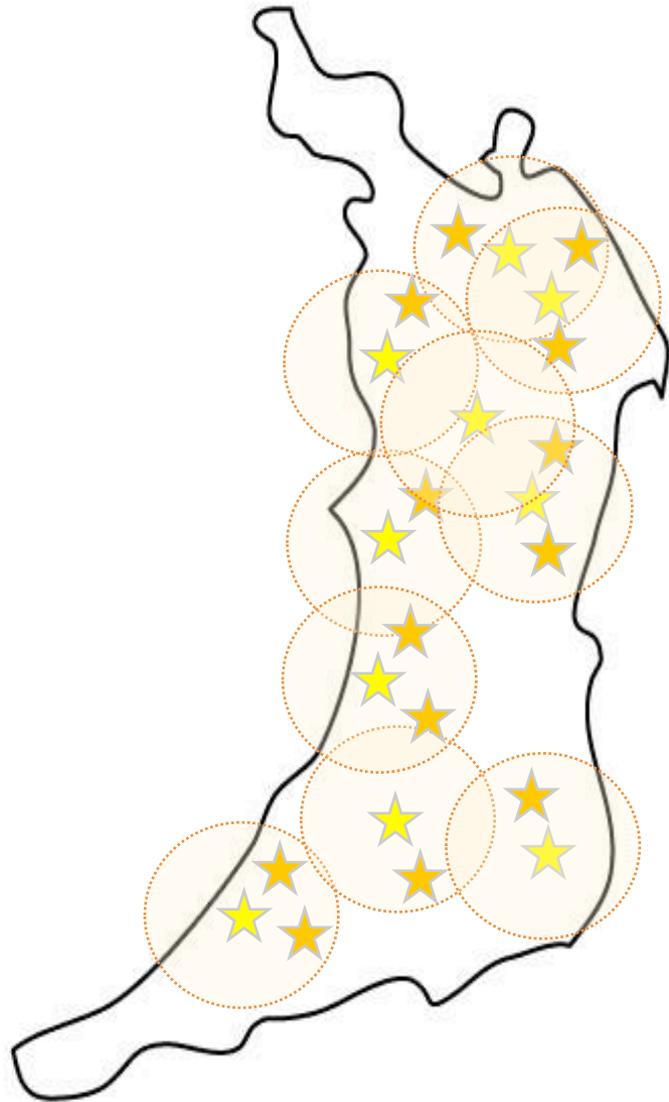
目的② みんなが「ええまち」のことに興味を持つ



「ええまち」の取り組みを関係者はもちろん、一般の府民に向けて発信します

ウェブサイト

目的③ 大阪じゅうに「ええまち」が広がっていく

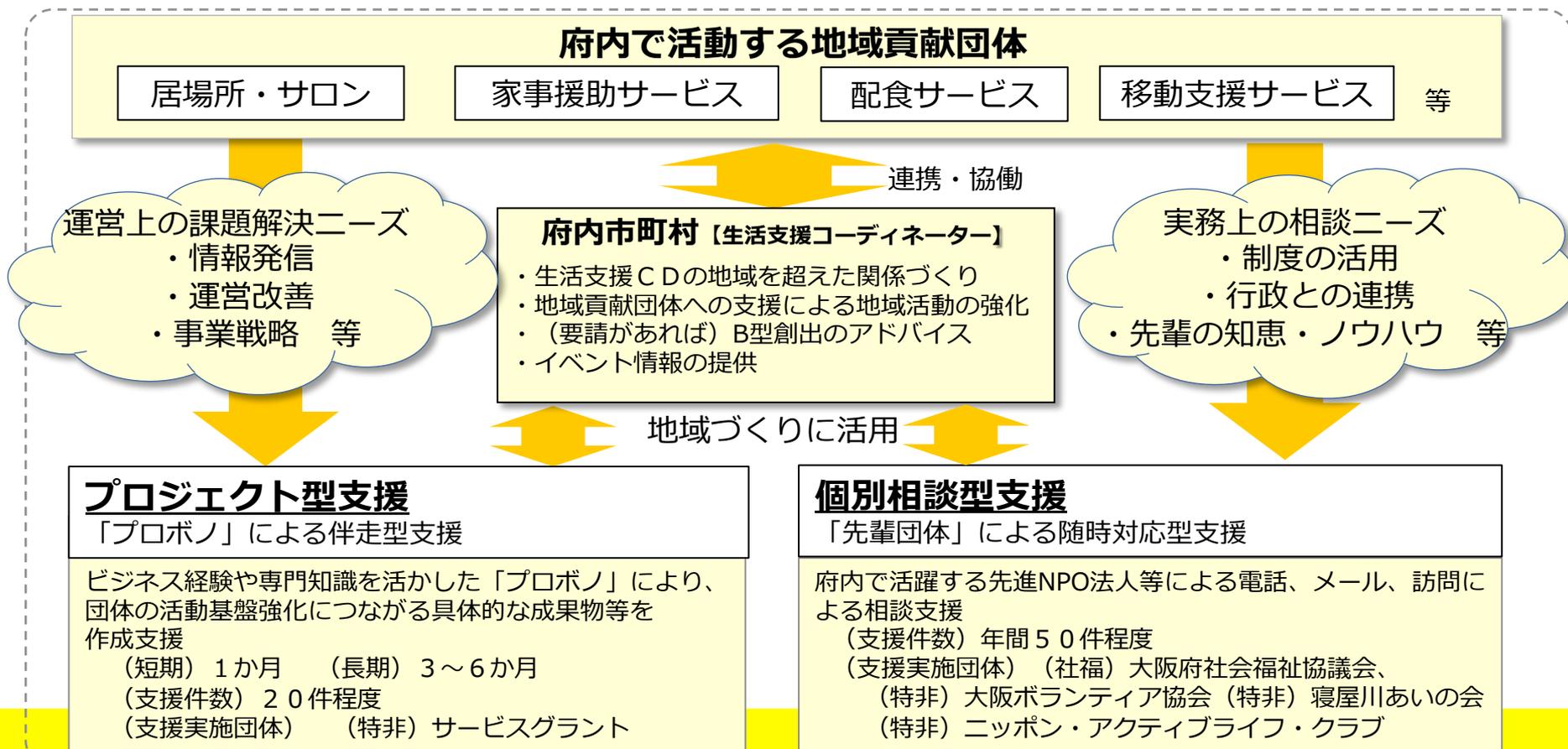


大阪府内の多くの地域に「ええまち」が広がっていくことを後押しします

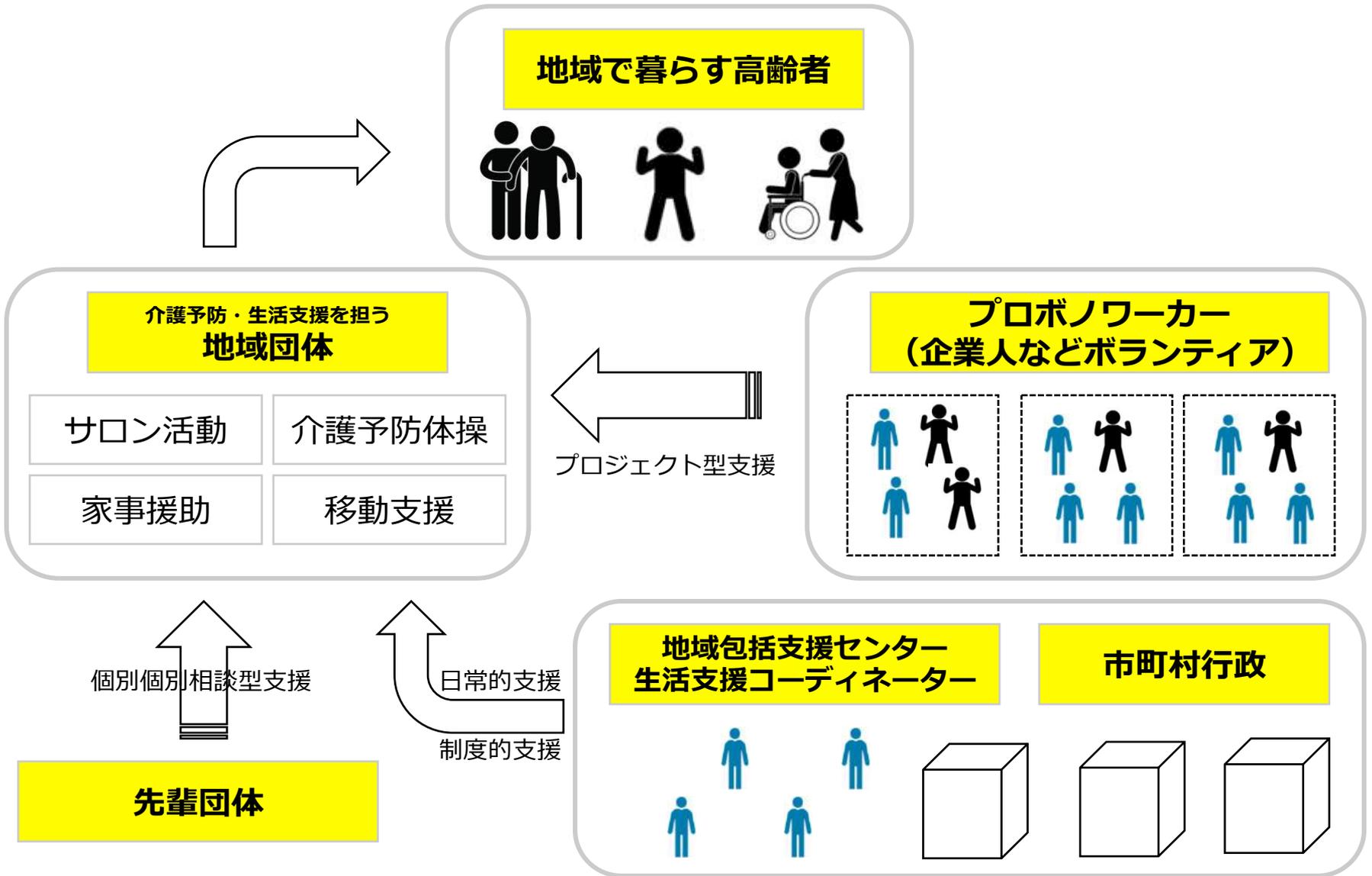
マニュアル化・事例研究

総括イベントなど交流機会

- 「大阪ええまちプロジェクト」は、若手からシニアまでオール大阪で住民主体（支え合い）による地域包括ケアシステムの構築を目指そうとするプロジェクトです。
- 地域において「住民主体型サービス」の創出に向けて取り組もうとする地域貢献団体に対して、
 - ①プロボノ（仕事上で得た知識や経験、技能を、社会貢献のため提供するボランティア）による「プロジェクト型支援」、
 - ②府内で活躍する先進NPO法人等（先輩団体）による「個別相談型支援」をマッチングすることを通じて、運営上の悩みを具体的に解決していきます。



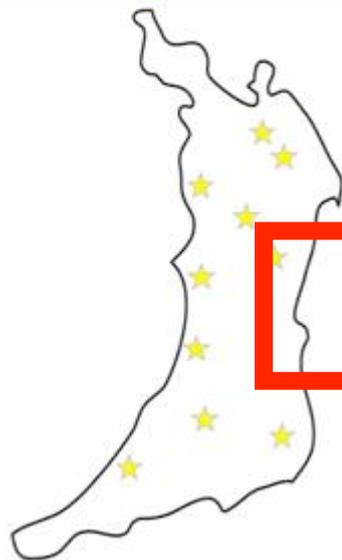
大阪ええまちプロジェクトに関わる多様な主体



プロジェクト型支援

について

① 地域を「ええまち」にする団体が元気になる



自分のまちを「ええまち」にしようがんばっている団体の活動を支援します

プロジェクト型支援

随時個別相談型支援

プロボノワーカーと地域団体をつなぎます

ええまち支援 1

高齢者の介護予防や生活支援などに取り組む団体を
仕事の経験を活かしたボランティア【プロボノ】が応援！

大阪ええまちプロジェクトがつなぎます

地域団体の皆さん
こんな悩みはありませんか？

課題を整理
したい



チラシ
作りた



SNS
活用したい



仕事の経験がある皆さん
こんなことできませんか？

事業計画
作成経験
あります



デザイン
できます

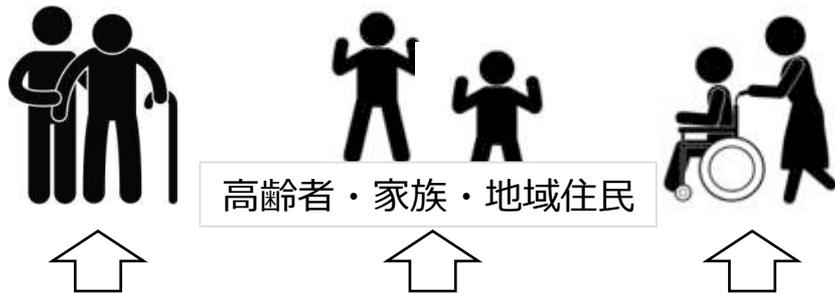


SNS
知識あります

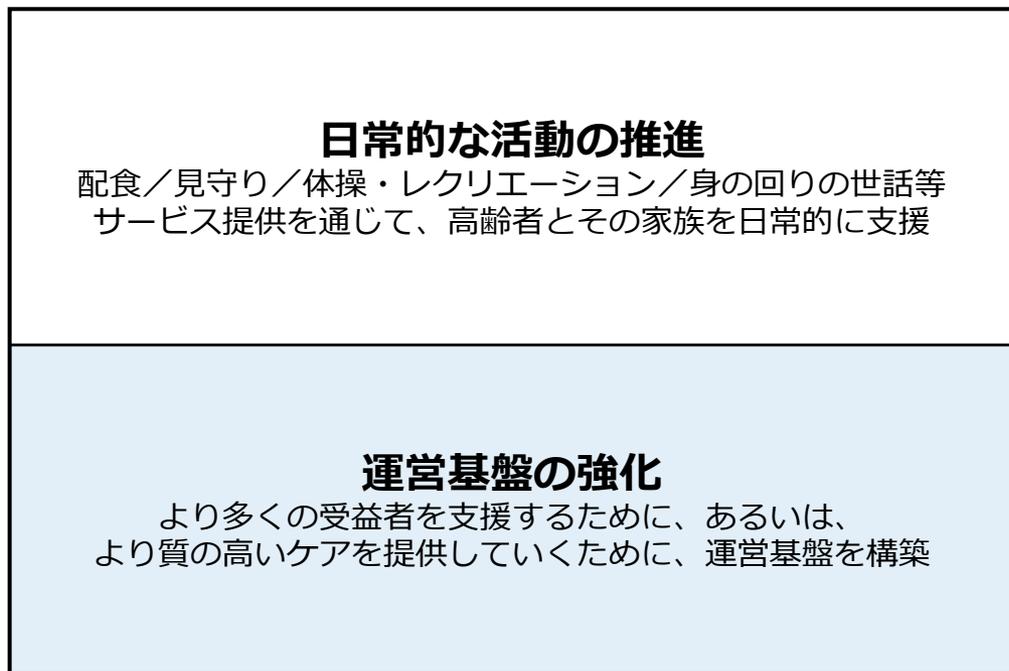


団体の「運営基盤」の強化に役立ちます

既存の支援策と連携しながら、地域団体となる様々な団体等に対して「運営基盤の強化」につながる支援を提供していきます。

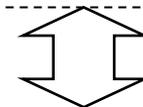


地域団体



各地域における支援活動

- 広報誌等での紹介
- イベントの開催
- 活動場所の提供
- ボランティアの仲介
- 活動費補助
- 情報共有・ネットワーキング等



効果的な連携

本事業による支援活動

- 情報発信基盤の強化
- 資金調達力の強化
- 業務改善・運営効率化
- ボランティアのマニュアル作成
- 事業戦略の策定
- 事業評価等

団体の悩みを具体的に解決します

もっと多くの人に
活動に参加してほしい！



イベントチラシ

若い人たちにも
活動の情報を届けたい！



Facebookページ

団体の何が課題か？
まずは棚卸をしたい！



課題整理

マニュアルを作って
ノウハウを共有したい！



運営マニュアル

キーワードは「プロボノ」です

地域団体に不足しがちな組織経営力の向上を実現するため、ビジネスの視点を持った企業人やアクティブシニア等による「プロボノ」の活躍を推進していきます。

「プロボノ」とは？

プロボノとは、**ビジネススキルや専門知識を活かしたボランティア活動**を意味します。

日本では2010年が「プロボノ元年」と言われ、企業人等のプロボノに対する関心は次第に高まりを見せています。

Pro	For	~のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

語源はラテン語のPro Bono Publico（公共善のために）という言葉です



▲テレビ東京「WBS」2010.4.27



▲NHK「クローズアップ現代」2010.7.1

▼日本経済新聞 夕刊 2010.8.10



▼朝日新聞 2011.3.1



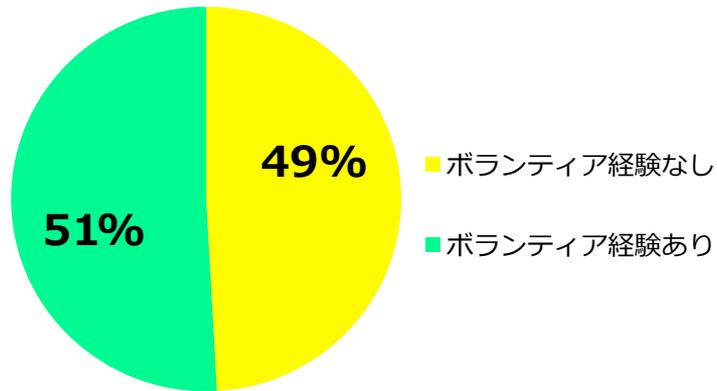
プロボノワーカーとは

仕事の経験を活かして地域団体やNPOの課題解決に共に取り組むボランティア。
関西エリアでも着実に参加人数が増えており、登録者数は現在620名を数えます。

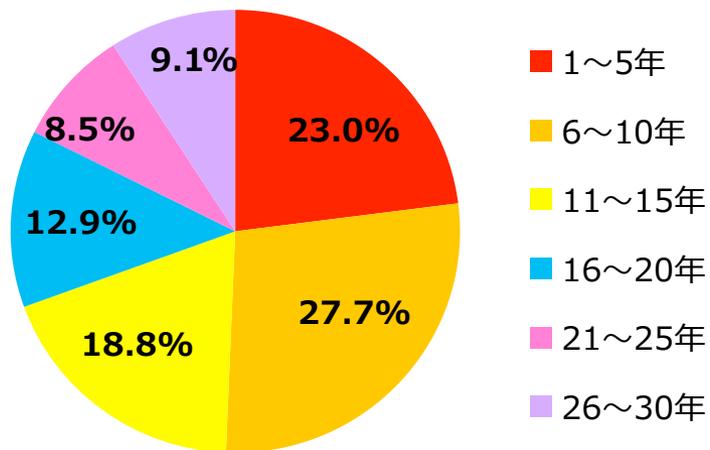


プロボノワーカーとは

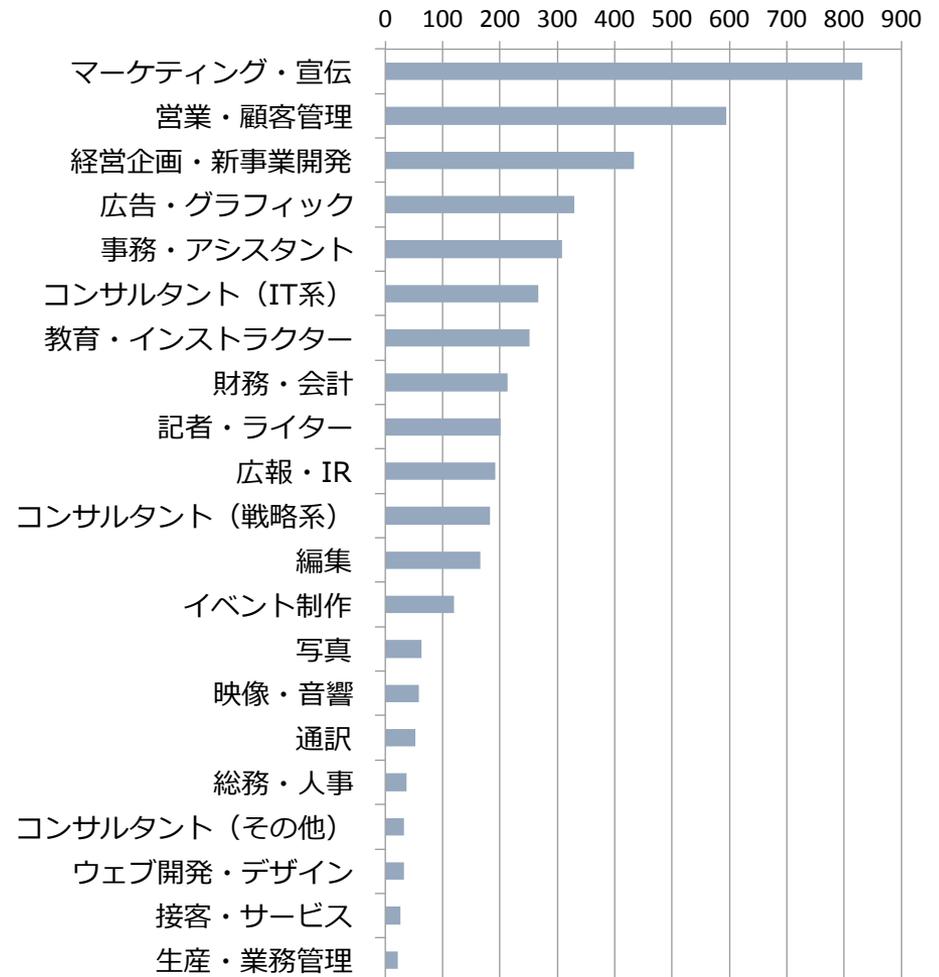
プロボノが初めてのボランティアという人が約半数にのぼります。



社会人経験6年～20年の働き盛りの年代が約6割にのぼり、男女比は6:4です。



企画・マーケティング、営業、事務などをはじめ、多様な職種の人に参加しています。



支援メニューについて

プロジェクト型支援では次の支援メニューを通じて、地域団体のニーズに応じていきます。

中長期プロジェクト 「大阪ええまちプロボノ」

2017年10月～2018年3月頃予定

約3～6カ月の期間をかけて、支援先の運営基盤強化につながる成果物を提供。

支援メニュー例

- 事業計画立案
- 支援ニーズ調査
- マニュアル作成
- ホームページ構築
- 営業資料&営業力パワーアップ

短期プロジェクト 「プロボノ1DAYチャレンジ」

2017年10月28日（土）開催

1カ月の準備期間+本番1日に限定したプロボノ体験型企画。

支援メニュー例

- イベントチラシ・ポスター制作
- Facebookページ 立ち上げ&活用法
- 課題整理
- スペース活用
- アンケート活用入門
- 会計相談
- 法律相談

【ご案内】原則として、1つのプロジェクトで目標とする成果物は、1点に限らせていただきます。
また、1つの団体が同時に複数のプロジェクトによる支援を受けることはできません。

【中長期】大阪ええまちプロボノ 実施概要

団体の組織基盤を強化する成果物を中長期の期間で提供します



実施日程	2017年10月～2018年3月頃
実施期間	支援メニューにより、3～6カ月程度
支援先団体件数	10団体程度
プロボノ チーム人数	1チーム 5～6人程度 ※各チーム人数は、全体の参加人数や支援メニューにより異なります

支援メニュー詳細 大阪ええまちプロボノ

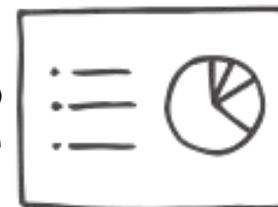
事業計画立案

団体を取り巻く環境を客観的に分析し、将来に向けた事業方針を検討、計画を立てます。



支援ニーズ調査

活動の利用者や支援者が現状の取組みをどのように評価しているか、リサーチします。



マニュアル作成

一部スタッフのノウハウを「明文化」することで、多くのボランティアが活動を担うことができる体制づくりを応援します。



営業資料

企業等を訪問して協働事業を提案する際に使用する、説得力・訴求力のある資料を作成。資金調達のための重要ツールに！

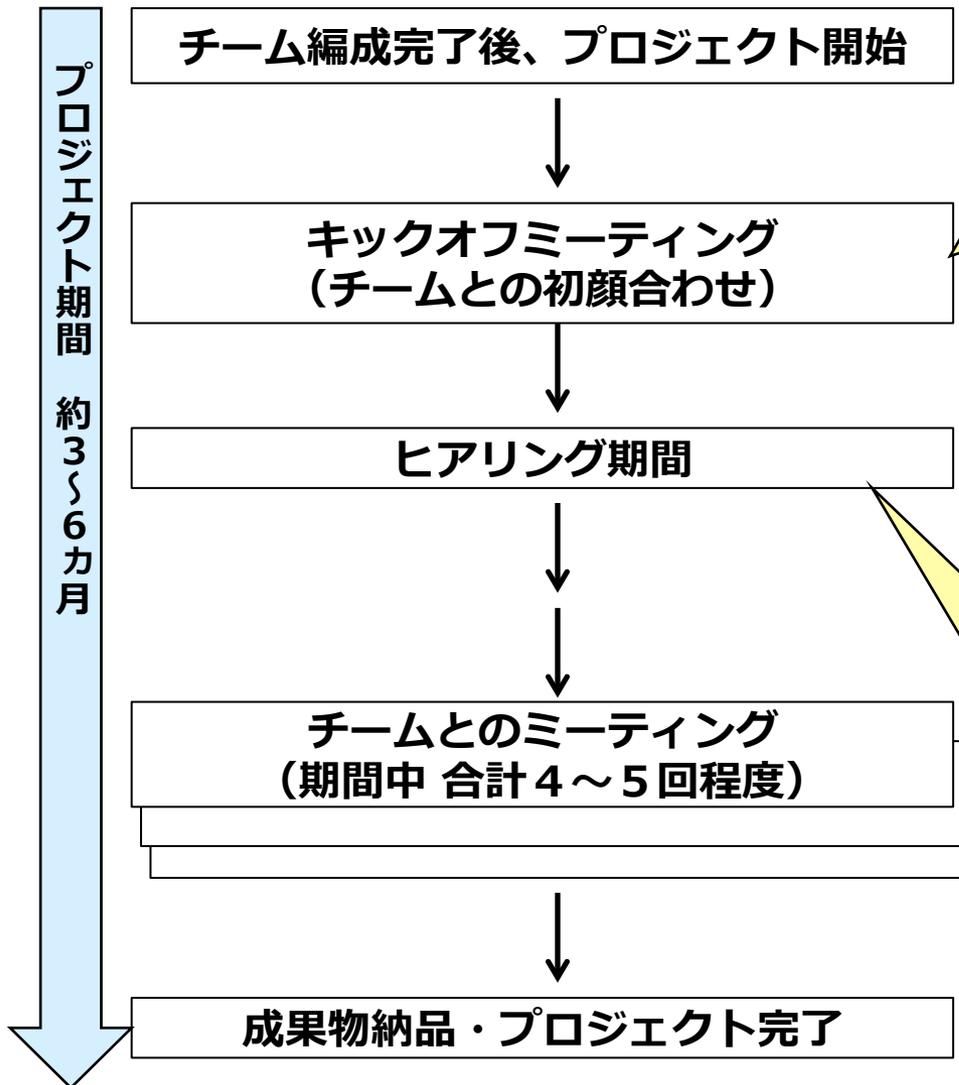


ホームページ構築

団体の情報発信の要となるウェブサイトを一新することで、重要なターゲットに、必要な情報が伝わるようにしていきます。



大阪ええまちプロボノの流れ プロジェクト開始後～完了まで



プロジェクト期間中、プロボノワーカーは週5時間までを目安に活動を行います。キックオフ以降、チームとの打合せには、プロジェクトの窓口担当者だけでなく団体代表者の方もできるだけご出席ください



ヒアリングでは団体の内/外部関係者、その他、団体の活動につながりのある方などをヒアリング先としてご紹介いただく場合がありますのでご協力をお願いします

支援事例

①印刷物制作

NPO法人 風のやすみば (東京都文京区)

【団体活動概要・プロボノの支援目的】

「行政や町会と住民との間を埋めて、具体的に個人に対する支援ができるような存在になれたら」と、2013年6月にコミュニティカフェをオープン。それ以外にも、日常のちょっとした困りごとを支援する「なんでも屋さん」、居住者の事情により更地や空き家となっている不動産の管理など、さまざまな事業を展開しています。団体の活動全体を、地域9,000世帯にわかりやすく伝え、住民のカフェ来訪やサービス利用を促進することを目的に、パンフレットの制作を支援しました。



【プロジェクト活動内容・成果物】

プロボノチームは、カフェを取り巻く幅広い関係者へのヒアリングを行い、さまざまな声を報告したことで、団体も活動の意義を再認識。現役のデザイナーやコピーライターがメンバーとして活躍し、カフェやその他のサービスの情報を整理して、読み手に分かりやすく伝えるパンフレットを仕上げました。結果、カフェへの新規来訪者の増加につながっています。



②運営マニュアル作成

NPO法人 ドリームタウン (東京都板橋区)

【団体活動概要・プロボノの支援目的】



高度経済成長期に建設され「東洋一のマンモス団地」として知られる地域では、高齢化が進み、一人暮らしの高齢者の暮らしをどのように支えるかが大きな課題です。そんな中、コミュニティカフェ「地域リビングプラスワン」を

運営し、食を中心とした交流スペースを提供。多様な人がそれぞれの思いを持ちながら関われる場所を運営しています。ボランティアが50人以上に上るようになり、自由な雰囲気を残しながら、関わる人同士が連携し、開かれた場所であり続けるために、カフェの運営マニュアル作成に取り組みました。

【プロジェクト活動内容・成果物】

活動見学やボランティアの方へのヒアリング調査などを通じ、プロボノチームは「地域リビングプラスワン」の価値を客観的に洗い出すとともに、課題を整理しました。

業務内容を細かく見直し、接客対応、衛生管理、備品の利用ルールなどをマニュアルとして言語化。ボランティアの皆さんが熱意を持ちながら、気持ちよく活動が続けていくための基盤づくりを応援しました。



【短期】プロボノ 1 DAYチャレンジ 実施概要

支援先団体に役立つ具体的な成果物を短期間で提供します



実施日程	本番実施日 2017年10月28日（土） 11:30～17:30頃まで ※ 9月30日にチームによる顔合わせをおこない、プロジェクトの開始準備を始めます。
会場（予定）	オープニング（プロボノメンバーのみ）：本町 プロボノ活動：府内各地（団体活動拠点等） 成果報告会：梅田駅付近
支援先団体件数	10団体程度
プロボノチーム人数	1チーム 3～6人程度 ※各チーム人数は、全体の参加人数や支援メニューにより異なります

支援メニュー詳細 プロボノ1DAYチャレンジ

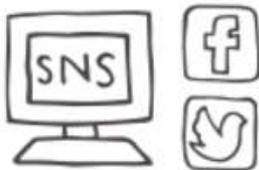
イベントチラシ・ポスター

手に取ってもらえるチラシ、目に留まるポスターはどのように作るか？ 現状のチラシ・ポスターをレベルアップ！



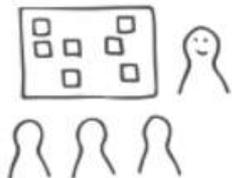
Facebookページ 立ち上げ&活用法

FacebookをはじめとするSNSが急速に拡大中。Facebookページを立ち上げて「いいね！」を集める一歩目を踏み出します。



課題整理

組織として課題と感じられていることを棚卸するとともに、それらの優先順位を整理し、次のアクションへとつなげます。



スペース活用

施設、店舗、サロンなどを運営している団体を対象に、既存スペースや空き家等を有効活用するための施策案を検討します。



アンケート活用入門

実施したものの活用できていないアンケート結果のデータ活用法やより効果的なアンケートの作成方法などをご提案します。



会計相談

会計・経理実務の現状を把握し、課題点・改善点の抽出を行うとともに、最も優先順位が高い課題点について改善提案を行います。



法律相談

利用者等に対する参加規約や同意書など、法務上の対応が必要な場面において、法務文書のひな型作成などを支援します。



10件程度の実施を予定しています。

プロボノ1DAYチャレンジ当日の流れ10月28日（土）当日

11:30～12:30頃 プロボノチームが打ち合わせ場所に到着
※到着時間は訪問場所やチームによって異なります

プロボノチームが各団体の事務所や活動拠点にお伺いします

12:30～17:30頃 プロボノチームとの打合せ・成果物作成

- ・ 団体の皆さんへの質問やヒアリング
- ・ 成果物についてのディスカッション
- ・ 成果物の作成



事前にチームと相談の上、昼食を一緒にとるなどしていただきます

成果物納品・プロジェクト完了



チームから成果物をお渡しして完了。

18:30～ 成果報告会（場所：府内会場を予定）

各チームの活動の様子や成果物を発表、全体で共有します



プロボノチームは全員集まりますが、団体の方のご参加は任意です。ご都合がよろしければぜひご参加ください

大阪ええまちプロジェクト 地域団体にとってのメリット

組織運営上の課題解決につながる、具体的な成果物が得られます

活動を広げたり、強化することに役立つ具体的な成果物の提供を通じて、団体の活動展開を応援します。

外部の視点を取り入れることで、組織の活性化につながります

企業等で活躍する人材との交流を通じて、スタッフやボランティアの活性化のきっかけをつくります。

他地域の地域団体の活動を知るきっかけになります

今年度は20団体程度の支援。大阪の地域団体の多様な活動を知る機会にもなります。

専門的で質の高いサポートを、無償で受けることができます

ただし、ウェブサイトのサーバー費用、印刷物の印刷経費などの実費経費は、団体側の負担となります。

大阪ええまちプロジェクト 対象団体

本プログラムにおいては、大阪府内の以下の団体を対象に、今年度、合計20団体程度の支援を予定しています。

【対象となる団体】

- (1) 地域包括ケアの構築に資する活動に取り組んでいる団体
- (2) 高齢者の社会参加を促進する活動に取り組んでいる団体

【対象となる団体の種別】 ※個人の方、宗教団体、政治団体等は支援対象となりません。

- (1) 任意団体（市民活動団体）
- (2) 地域活動団体（町内会・自治会・老人会等）
- (3) NPO法人
- (4) 社会福祉法人
- (5) 各種公益法人（一般・公益社団法人、一般・公益財団法人、等）
- (6) 株式会社・有限会社等で地域福祉に関する取り組みを行っている事業者
- (7) その他、大阪府が個別に認めた団体

【支援件数】

- (1) 短期プロジェクト「プロボノ1DAYチャレンジ」による支援先 10団体程度
- (2) 中長期プロジェクト「大阪ええまちプロボノ」による支援先 10団体程度

※ (1)(2)ともに応募多数の場合は、支援対象団体の活動地域や、活動分野等の多様性を確保する観点から支援先を調整させていただくことがあります。

想定される費用について

本プログラムによる支援を受けるにあたって、下記に示す費用は支援を受ける団体側の負担となり、大阪府や本事業の事務局が負担することはありませんので、あらかじめご了承ください。

【想定される費用】

- (1) ウェブサイト構築支援の場合、ウェブサイト運営に係る諸費用（サーバー費、ドメイン取得費等）
- (2) パンフレット・チラシ等印刷物支援の場合、印刷・配送等に係る諸費用（印刷費、郵送費等）
- (3) 有償画像素材等の購入に係る費用
- (4) 打ち合わせ等の実施・参加における、公共施設等の有料施設を利用した際の施設使用料
- (5) 打ち合わせ等の実施・参加における、団体関係者の交通費（電車・ガソリン代・駐車料金等）
- (6) 打ち合わせ等の実施・参加における、団体側に発生した茶菓・飲食等の費用
- (7) その他、本プログラムの実施に関連して支出した雑費（文房具代、消耗品費等）

採択基準

本プログラムの支援先の審査に当たっては、下記の基準を設定しています。

なお、下記基準をすべて満たした場合でも、応募多数の場合は、活動地域や支援内容等を考慮したうえで、支援の実施を見送らせていただく場合がありますので、何卒ご了承ください。

項目	基準
組織に関する基準	<ul style="list-style-type: none">○ 地域包括ケアの構築に資する活動を行う団体（法人・任意団体等）であること（※個人の方、また、宗教法人、政治団体は支援対象外です。）○ 大阪府内に活動拠点があること○ 大阪府内における活動実績が少なくとも1年間以上あること
支援の受け入れ体制に関する基準	<ul style="list-style-type: none">○ 本事業の趣旨を理解し、プロボノによる支援に対して、円滑な対応ができるよう、意思決定者および窓口担当者を決定し、組織的な受け入れ体制を確保していること○ 平日夜、または、土日のミーティングに対応可能であること○ 電子メールへの返信等、事務局およびプロボノワーカー（ボランティア）との間で、円滑なコミュニケーションができること
期待される成果に関する基準	<ul style="list-style-type: none">○ 事業の実施において、独自性の高い手法を用いたり、試行錯誤を通じたさまざまな工夫を取り入れながら、成果を高めようと模索していること○ 団体として目指す目標が設定されており、本事業の成果物によって、従来以上に、十分に多数の受益者に対して活動を拡大することが期待できること○ 他地域における取り組みのモデルとなることが期待できること

応募の流れ（プロジェクト型支援）

1	7月22日（土） 26日（水）説明会	参加希望団体向け説明会を実施します。
2	～8月7日（月） 応募受付締切	応募内容が決まったら、 <u>「応募申込書」に記入して電子メールにてご応募いただきます。</u> ご応募をいただいた案件から順次支援について検討を進めますので、早目のお申込をお待ちしています。
3	～8月14日（月） 書類選考	申請内容をもとに支援の実施可否について検討します。 <u>いただいた応募内容をもとに支援対象団体の活動地域や、活動分野等の多様性を確保する観点から支援先を調整させていただくことがあります。</u>
4	～8月下旬 訪問ヒアリング	上記書類選考を通過した申請について、個別にヒアリングを実施し、団体の課題、支援ニーズ等について詳しくお伺いします。
5	～9月中旬 支援内容の合意・決定	本プログラムによる支援の実施に関して、調整結果を申請団体の皆さまにお伝えします。支援が決定した団体の情報を事務局から各地の区市町村の担当者に報告します。
6	～9月下旬 必要書類・参加同意書 への記入・提出	支援先団体の皆さんに記入いただいた書類やパンフレットなどは、プロボノチームの事前の打合せの際に資料としてお渡しします。
7	～9月末 助成契約書の締結	契約締結後に、正式なプロジェクト開始となります。

地域団体からの応募方法

応募方法

応募締め切りは 8月7日（月） です。

大阪ええまちプロジェクトホームページより応募申込書をダウンロードし
必要事項を記入の上、電子メールでのお申込みをお願いいたします。

● 「大阪ええまちプロジェクト」ホームページ

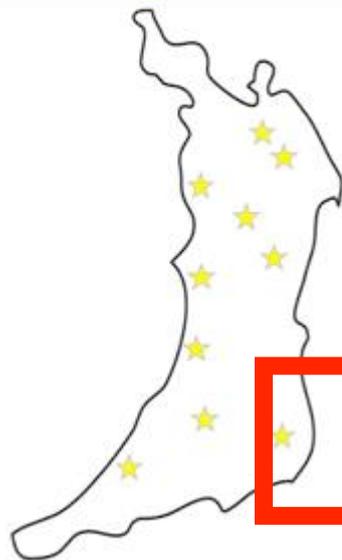
大阪ええまち 🔍

⇒ <http://eemachi.pref.osaka.lg.jp/>

● 応募申込書 送信先メールアドレス **osaka@servicegrant.or.jp**

随時個別相談型支援 について

① 地域を「ええまち」にする団体が元気になる



自分のまちを「ええまち」にしようがんばっている団体の活動を支援します

プロジェクト型支援

随時個別相談型支援

プロボノワーカーと先輩団体をつなぎます

ええまち支援 2

高齢者の介護予防や生活支援などに取り組む団体のために
大阪の先輩団体が個別にアドバイス！

大阪ええまちプロジェクトがつなぎます

地域団体の皆さん
こんな悩みはありませんか？

事業拡大に
いくらかかる？

運営のコツ
知りたい！

地域の人に
広めたい！



先輩団体が
こたえます！

予算の目安
わかります

運営のコツ
伝えます

地域への
広め方
伝授します



【相談受付期間】平成29年8月1日 ~ 平成30年2月28日

応募の流れ（随時個別相談型支援）

1	相談シートの記入	相談を希望する地域団体は、別添、もしくは大阪ええまちプロジェクトホームページ（ http://eemachi.pref.osaka.lg.jp/ ）よりダウンロードした「相談シート」に内容を記載ください。
2	相談シートの提出	電子メールまたはFAXにてええまち事務局にご連絡ください。 ●送信先メールアドレス osaka@servicegrant.or.jp ●送信先FAX番号 06-6125-3315
3	先輩団体の決定	事務局と先輩団体との間で連絡・調整を行います。
4	相談開始のご連絡	地域団体のみなさまに、先輩団体から直接ご連絡します。

お問い合わせ

本事業についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

【大阪ええまちプロジェクト事務局】

認定NPO法人 サービスグラント（担当：槇野、武富、岡本）

大阪市西区西本町2-4-10 浪華ビル201 FACTO内

電話: 06-6210-4832 電子メール: osaka@servicegrant.or.jp

【主管部署】

大阪府福祉部高齢介護室 介護支援課（担当：吉田）

電話:06-6944-6690

地域団体の皆さまからのご応募をお待ちしております。

企画・運営

